

---

# 東京都微生物検査情報

## MONTHLY MICROBIOLOGICAL TESTS REPORT, TOKYO

---

第45巻 第5号  
2024年5月号  
月 報



東京都健康安全研究センター

<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>

---

ISSN 1883-2636

## 市販キノコ類からのリステリア属菌の検出状況

### 1. リステリア属菌とリステリア食中毒

リステリア属菌は、動物の腸管内や環境中に広く分布している通性嫌気性芽胞非形成グラム陽性の短桿菌であり、一般的な食中毒菌が増殖できないような条件（4℃以下の低温や 12%食塩濃度）下でも増殖可能な細菌である<sup>1)</sup>。中でもヒトに病原性のある *Listeria monocytogenes* (*Lm*) による食中毒の原因食品として、喫食前に加熱を要さない調理済み食品（Ready-to-Eat 食品）で比較的長期間低温保存する食品（例えば乳製品や食肉加工品など）が諸外国で多く報告されている。日本においては、非加熱食肉製品及びナチュラルチーズ（ソフト及びセミハードに限る）の成分規格に *Lm* の基準値が設定されている。

一般に健康な成人では、非常に高い菌数（ $10^6$  cfu/g）の *Lm* に汚染された食品を摂取しなければ発症しない、もしくは軽症で自然治癒するとされている<sup>2)</sup>。しかし、高齢者や免疫機能が低下している人は、より少ない菌量でも発症することがあり、髄膜炎や敗血症等の重篤な症状に陥ることもある。また、妊婦が感染した場合、胎児・新生児に感染による影響が出ることもあり<sup>1,2)</sup>、厚生労働省をはじめ各自治体などにより注意喚起がなされている。

2016年から2019年にかけて、米国において韓国産エノキタケによる *Lm* 食中毒の広域的・散発的事例が発生し 36 人が発症し 4 人が死亡したとの報告があった<sup>3)</sup>。しかし、国内におけるキノコ類の *Lm* 汚染実態を調査したデータは少ないため、都内で流通する市販キノコ類のリステリア属菌の汚染実態調査を行った<sup>4)</sup>。

### 2. 市販生鮮キノコ類のリステリア属菌の汚染状況

2021年から2023年に購入した国産の生鮮キノコ類 99 検体についてリステリア属菌の検出を試みた。その結果、1 検体（エノキタケ）から *Lm* 及び *L. innocua* が、18 検体から *Lm* 以外のリステリア属菌が分離され、都内で流通するキノコ類の一部で *Lm* をはじめとするリステリア属菌による汚染が確認された<sup>4)</sup>（表 1）。*Lm* 陽性検体の汚染菌数は  $10^1$  cfu/g 未満と少なかった。分離された

*Lm* の血清型は 1/2a で、臨床分離株において本血清型は 4b、1/2b に次いで検出頻度の高い血清型である。*Lm* 以外のリステリア属菌は、エノキタケの他、キクラゲ、シイタケ及びナメコから検出され、菌種は、*L. innocua*、*L. grayi* 及び *L. newyorkensis* であった<sup>5)</sup>（表 2）。

### 3. キノコ類の加熱調理に対する消費者の認識

キノコ類は加熱調理し喫食するものと一般的に認識されてきたが、近年、レシピサイトなどで一部キノコを未加熱のままサラダ等で喫食する例が散見される。一方、当センターが実施したイベントに参加した消費者を対象にキノコの生食に関する実態調査アンケートを実施（回答数 49 名）したところ、27 名（55.1%）が「食用キノコであっても食中毒起因菌の付着あるいは、有害物質を含有している可能性があり、十分な加熱が重要であることを知っていたか」という問いに「知らなかった」と回答していた<sup>4)</sup>。

リステリア属菌は芽胞を形成せず、十分な加熱（中心温度 75℃で 1 分以上が目安）により死滅させることができる。*Lm* による食中毒を予防するため、キノコの十分な加熱調理や二次汚染の防止について普及啓発に努める必要があると考えられた。

### <参考文献>

- 1) 食品安全委員会：微生物・ウイルス評価書 食品中のリステリア・モノサイトゲネス、2013 <https://www.fsc.go.jp/fsciis/attachedFile/download?retrievalId=kya20120116331&fileId=201>
- 2) 平成 26 年 12 月 25 日付厚生労働省通知：リステリア・モノサイトゲネスに関する Q&A について <https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11130500-Shokuhinanzendu/0000070322.pdf>
- 3) FDA：Outbreak Investigation of *Listeria monocytogenes*: Enoki Mushrooms (March 2020) <https://www.fda.gov/food/outbreaks-foodborne-illness/outbreak-investigation-listeria-monocytogenes-enoki-mushrooms->

march-2020

ne/index.html

4) 東京都保健医療局：食品衛生関係事業報告  
令和5年版  
[https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin/foods\\_archives/publications/foodHygiene/index.html](https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin/foods_archives/publications/foodHygiene/index.html)

5) 村上 昂ら：第 166 回日本獣医学会学術集会、  
2023  
(食品微生物研究科 井田 美樹)

表1 国産生鮮キノコ類におけるリステリア属菌陽性数

種別	検体数	Lm 陽性数 (%)	リステリア属菌陽性数(%)
マッシュルーム	22	0	0
エノキタケ	21	1 (4.8)	9 (42.9)
キクラゲ	16	0	7 (43.8)
シイタケ	12	0	2 (16.7)
ナメコ	15	0	1 (6.7)
ブナシメジ	5	0	0
マイタケ	4	0	0
エリンギ	2	0	0
ヒラタケ	2	0	0
計	99	1 (1.0)	19 (19.2)

表2 分離されたリステリア属菌の由来及び菌種

検体	菌種	検体	菌種
エノキタケ 1	<i>L. monocytogenes</i>	キクラゲ 1	<i>L. grayi</i>
	<i>L. innocua</i>	キクラゲ 2	<i>L. newyorkensis</i>
エノキタケ 2	<i>L. innocua</i>	キクラゲ 3	<i>L. newyorkensis</i>
エノキタケ 3	<i>L. innocua</i>	キクラゲ 4	<i>L. newyorkensis</i>
エノキタケ 4	<i>L. innocua</i>	キクラゲ 5	<i>L. newyorkensis</i>
エノキタケ 5	<i>L. innocua</i>	キクラゲ 6	<i>L. newyorkensis</i>
エノキタケ 6	<i>L. innocua</i>	キクラゲ 7	<i>L. newyorkensis</i>
エノキタケ 7	<i>L. innocua</i>	シイタケ 1	<i>L. innocua</i>
	<i>L. grayi</i>	シイタケ 2	<i>L. grayi</i>
エノキタケ 8	<i>L. grayi</i>	ナメコ 1	<i>L. newyorkensis</i>
エノキタケ 9	<i>L. grayi</i>		

表1 病原体搬入・検出状況(4種等)※

2024年5月分

機関名		コレラ菌	赤痢菌	チフス菌	パラチフスA菌	腸管出血性大腸菌	結核菌
区	千代田区						
	中央区						
	港区					1	
	新宿区	1				1	5
	文京区						
	台東区						
	墨田区						2
	江東区						
	品川区						
	目黒区					1	
	大田区						4
	世田谷区					2	5
	渋谷区					1	1
	中野区						
	杉並区						2
	豊島区						
	北区						
	荒川区						
	板橋区						9
	練馬区					2	4
足立区							
葛飾区						4	
江戸川区						1	
市	町田市						3
	八王子市						2
小計		1				8	42
都	西多摩					1	
	多摩立川						2
	南多摩						1
	多摩府中					1	1
	多摩小平					1	7
	島しょ						
小計						3	11
合計		1				11	53
健康安全研究センター 検出分						3	

※2016年4月より、各保健所から搬入された検体を集計することとした

表2 検体搬入状況(全数把握対象疾患-五類)\*

2024年5月分

	検体数	2024年累計
侵襲性インフルエンザ菌感染症(菌)	10	26
侵襲性髄膜炎菌感染症(菌)	1	2
侵襲性肺炎球菌感染症(菌)	12	46
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(菌)**	7	47
播種性クリプトコックス症(菌)		8
合計	30	129

\*2016年4月(第37巻・第4号)から追加 \*\*2023年5月本庁通知による名称変更

表3 病原微生物検出状況(食中毒関連)

2024年5月分

	菌種名	検体数	2024年累計
細菌	大腸菌		
	毒素原性		
	組織侵入性		
	病原血清型		
	腸管出血性		
	その他・不明		
	サルモネラ		
	O4	1	10
	O7	1	3
	O8		1
	O9		1
	その他		
	不明		
	腸炎ビブリオ		
	その他のビブリオ		
	エロモナス		
	プレジオモナス・シゲロイデス		
	カンピロバクター	16	50
	黄色ブドウ球菌	1	1
	F型ウエルシュ菌	24	45
ボツリヌス菌			
F型ボツリヌス毒素産生 クロストリジウム・バラティイ			
リステリア・モノサイトゲネス			
セレウス菌			
ウイルス	ノロウイルス(G I)	16	181
	ノロウイルス(G II)	49	641
	ノロウイルス(G I, G II)	12	30
	ロタウイルス	15	15
	サポウイルス		
寄生虫	アニサキス	4	13
	クドア		1
合計		139	992

**表4 HIV 検査数及び陽性数**

2024年5月分

	男性		女性		性別不明		合計	
	検査数	陽性数	検査数	陽性数	検査数	陽性数	検査数	陽性数
検査数	126	1	46	0	0	0	172	1
2024年累計	2,732	16	812	0	6	0	3,550	16

※東京都新宿東口検査・相談室の2024年1月～3月実績を含む

**表5 性感染症検査数及び陽性数**

2024年5月分

	梅毒検査		クラミジア遺伝子検査		淋菌遺伝子検査	
	検査数	陽性	検査数	陽性	検査数	陽性
検査数	142	8	175	6	120	0
2024年累計	3,344	326	856	38	478	1

※東京都新宿東口検査・相談室の2024年1月～3月実績を含む

**表6 定点把握疾患別病原体分離状況（ウイルス）**

2024 過去3か月

定点種別	対象疾患名	検出病原体	3月	4月	5月	合計
インフルエンザ	インフルエンザ及びインフルエンザ様疾患 (ILI)	インフルエンザウイルス AH1pdm09	4	5		9
		インフルエンザウイルス AH3	1	7		8
		インフルエンザウイルス B型 Victoria 系統	36	16	1	53

◆東京都微生物検査情報◆

2024年6月27日

編集・発行

東京都健康安全研究センター

東京都感染症情報センター

〒169-0073

東京都新宿区百人町 3-24-1

TEL:03-3363-3213

FAX:03-5332-7365

S1153803@section.metro.tokyo.jp

<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>

(2023年7月1日よりURLを変更しました)